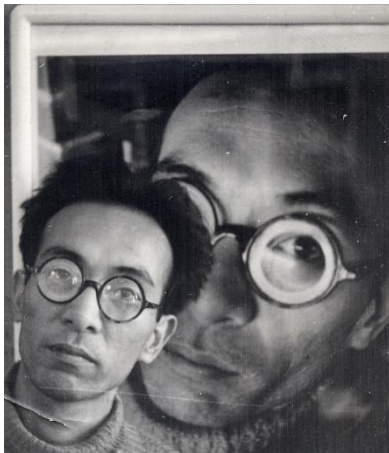


瑛九

—まなざしのその先に—



左から《空の目》1957年 宮崎県立美術館、[玉井瑞夫撮影「瑛九氏」の前の瑛九] 提供：宮崎県立美術館、
《芽》1954年 宮崎県立美術館

1 開催趣旨

瑛九（えいきゅう 1911-60）は、油彩画のみならず、写真、版画など多分野で創作活動を行い、作風も印象派やシュルレアリスム、キュビズムなどに刺激を受けながら、めまぐるしく変貌し、絶えず新しい表現を模索し続けました。また、批判的精神を持ち続け、美術や社会に関する評論活動に精力的に行い、「デモクラート美術家協会」を組織するなど指導者としての顔も持った瑛九の存在は、その作品とともに、同時代や後進の芸術家たちを惹きつけ多大な影響を与えました。

本展では、最初期から絶筆に至るまでの油彩画を中心に、「フォト・デッサン」による写真作品、銅版画やリトグラフなど、各分野の代表作による約 100 点を一堂に展示します。自ら理想とする美を追求し続け、戦前・戦後を駆け抜けた瑛九の軌跡を紹介します。

2 会期・会場・主催等

会期：令和6（2024）年9月14日（土）～11月4日（月・休）

休館日：10月7日（月） 無料観覧日：11月3日（日・祝）

会場：横須賀美術館（神奈川県横須賀市鴨居4-1）

主催：横須賀美術館 特別協力：宮崎県立美術館 出品協力：東京国立近代美術館

問い合わせ先：横須賀市コールセンター 046-822-4000（月～金曜日：8:00～18:00、土日・祝休日：8:00～16:00）

3 観覧料

一般 1,300（1,040）円、高大・65歳以上 1,100（880）円 中学生以下無料

*（ ）内は20名以上の団体料金 *高校生（市内在住または在学に限る）は無料

*身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添の方1名様は無料

●見どころ1

関東の美術館では13年振りの回顧展 代表作を含む約100点を一堂に

関東の美術館では、「生誕100年記念 瑛九展」(埼玉県立近代美術館・うらわ美術館、2011年)以来、瑛九の全画業を紹介する回顧展としては13年振りで、デビュー作『眠りの理由』、幅3メートル超の大作《カオス》、絶筆《つばさ》など、初期からの晩年までの代表作を交えた約100点により瑛九の画業を紹介します。



左から『眠りの理由』より 7) 1936年 東京国立近代美術館、《カオス》 1957年 東京都現代美術館、
《つばさ》 1959年 宮崎県立美術館

●見どころ2

油彩画、写真、コラージュ、エッチング、リトグラフなど、多岐にわたる瑛九作品を展示

瑛九の創作活動は、油彩画のみならず、「フォト・デッサン」と呼んだ写真作品、エッチングやリトグラフ、コラージュなど多岐にわたりました。本展では、これらを展示し、瑛九芸術の全容にせまります。

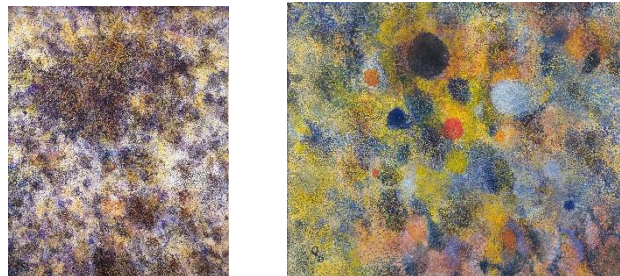


左から《鳩》1949年 宮崎県立美術館、《ダンス》1953年 宮崎県立美術館、《旅人》1957年 宮崎県立美術館、
《題不明》1937年 宮崎県立美術館

●見どころ3

最晩年に辿り着いた「点描」作品を一挙7点展示

自ら理想とする美を追求し続けてきた瑛九が、最晩年に辿り着いた「点描」。おびただしい微細な点により、かつてない密度で描き込まれた画面は圧巻の一言です。本展では、この「点描」による作品を一挙7点展示します。



左から《雲》 1959年 埼玉県立近代美術館、《作品》 1959年 宮崎県立美術館



瑛九 (えいきゅう、1911-60) 宮崎県生まれ。1936年にフォト・デッサン集『眠りの理由』でデビュー。その後、さまざまな技法により自らのイメージを追求し、微細な点描による独自の表現を展開するも49歳で早逝。戦前、戦後の日本の前衛美術における重要作家。

[写真：1954年6月帰省した折の瑛九(杉田眼科の2階で) 提供：宮崎県立美術館]

【要旨用短文】

100字

最初期から絶筆に至るまでの油彩画を中心に、写真作品、銅版画やリトグラフなど、多岐にわたる代表作約 100 点を一堂に展示し、戦前・戦後を駆け抜けた瑛九の軌跡を紹介します。

50字

油彩画を中心に、写真作品、銅版画やリトグラフなど、約 100 点を一堂に展示し、瑛九の軌跡を紹介します。

20字

瑛九芸術の全容にせまる 13 年振りの回顧展

プレスリリース関連の問い合わせ先 横須賀美術館 〒239-0813 横須賀市鴨居 4-1

○ホームページ <https://www.yokosuka-moa.jp>

Eメール kouhou@city.yokosuka.kanagawa.jp

○取材・画像提供に関すること 総務係：安陪、池田 電話 046-845-1211

○展示内容に関すること 担当学芸員：栗林、工藤 電話 046-845-1212

【図版の使用等について】

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。

「申込書」に必要事項をご記入のうえ、ファクスまたはメールにてお申込みください。

・「申込書」に記載のある画像以外は使用できません。

・作品画像は全図で使用してください。

トリミングや文字のせなど、画像の加工・改変はできません。

・画像データ使用は、本展覧会の紹介のみとします。

・申込書に記載してあるとおりのキャプション表記をお願いします。

・WEBに掲載する場合は、解像度72dpi以下とし、コピーガード（右クリック不可）を施してください。

・再放送、転載など二次使用の場合、別途お申込みが必要です。

・その他、著作権により使用制限がある場合や、ご希望に添えない場合がございます。

・原稿は掲載前に必ず当館「総務系」の確認を得てください。確認に期日を要するため、予め余裕をもってお送りください。

・展覧会場の取材、撮影をご希望の場合、「総務系」までご連絡ください。来館者の安全な鑑賞環境を優先するため、ご希望に添えない場合もございます。また、事前にご連絡のない取材、撮影はお受けできません。

・掲載誌（紙）、媒体（DVDなど）、URLなどを「総務系」あてに1部以上お送りください。

【プレゼント用招待券について】

読者・視聴者へのプレゼント目的に限り、本展覧会会期中有効のご招待券を20枚（10組20名様分）までご提供します。ご希望の方は、「申込書」に必要事項をご記入のうえ、ファクスまたはメールにてお申込みください。

【交通のご案内】

■電車をご利用の場合

*京急線「馬堀海岸」駅もしくはJR「横須賀」駅から
観音崎行バス「ラビスタ観音崎テラス・横須賀美術館前」
下車徒歩2分

*京急線「浦賀」駅から観音崎行バス終点「観音崎」
下車徒歩5分

■車をご利用の場合

*横浜横須賀道路馬堀海岸I.C.から約3km（約5分）



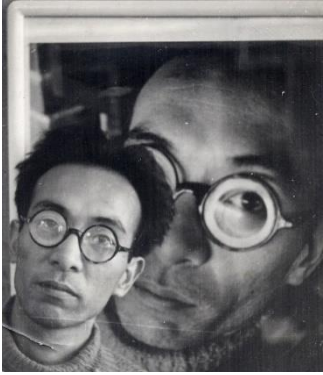





瑛九

—まなざしのその先に—

掲載図版／チケットプレゼント申込書

FAX：046-845-1215 横須賀美術館 行き

本展覧会の掲載図版ならびにチケットプレゼント用招待券（ペア 10 組分／20 枚）をご希望の方、下記へご記入の上 FAX にてご請求ください。必要な図版にをつけてください。

<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/> 
<p>[玉井瑞夫撮影「瑛九氏」の前の瑛九] 提供：宮崎県立美術館</p>	<p>瑛九 《空の目》 1957 年 宮崎県立美術館蔵</p>	<p>瑛九 《カオス》 1957 年 東京都現代美術館蔵</p>
<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/> 	<input type="checkbox"/> 
<p>瑛九 《青の中の黄色い丸》 1957-58 年 埼玉県立近代美術館蔵</p>	<p>瑛九 《つばさ》 1959 年 宮崎県立美術館蔵</p>	<p>瑛九 《ダンス》 1953 年 宮崎県立美術館蔵</p>

必ずご記入ください⇒ 貴社名..... TEL.....

貴誌（紙）名..... ご担当者様お名前.....

メールアドレス（画像データ送付先）.....

ご要望事項（サイズ・解像度など）.....

チケットプレゼント用招待券 希望する 希望しない.....

ご住所（チケット送付先）.....